

研 修 等 報 告 書

令和 2年 11月 12日

笠岡市議会議長 殿

議員 真鍋 陽子



下記のとおり研修等を実施したのでその結果を報告します。

記

【1】

住 所	笠岡市美の浜8-4 (オンライン勉強会)
電 話	0865-67-0738
案 件	インフルエンザとの同時流行に備えての新体制
期 日	令和2年11月12日(木) 10時20分から12時まで
主 催 者	自治体議員政策情報センター
訪問施設	オンライン受講 会場: 参議院議員会館B109内(関東限定30人)
講 師	厚生労働省 職員 東京都世田谷区長 保坂展人
概 要	<p>今までは公立の病院が主に受けていたが、^{PCRは}10月末をめぐりに体制が変わってきている。地元のかかりつけ医で受診ができる体制づくりをする。適切な患者様に適切な検査を。新型コロナウイルス感染症の影響で患者数が減少している医療機関に関しては補助を出している。</p> <p>世田谷区では、まずは症状のある方、そして社会的検査(介護施設職員に症状がなくとも行う)を実施した。安倍前首相が地域の感染状況を考慮し、地域介護施設、幼稚園保育園などの職員に定期的PCR検査を行う必要性を会見で示している。世田谷区の最大の特徴は保険所の負担を軽減するフレーム構築をしていること。介護事業所、障がい者施設、一時保護所児童養護施設など、保育所、幼稚園の職員に対して定期検査を行うことで無症状の陽性者を早期に確認していく方針。手で検査をしている国はあまりない。プール方式PCR検査の拡大採用で費用、時間の圧縮を世田谷区で考えているとのこと。笠岡市の新体制も確認したい。</p>
添付書類	研修等資料

【2】

住 所	笠岡市美の浜8-4 (オンライン勉強会)
電 話	0865-67-0738
案 件	子ども一人に一台端末支給のGIGAスクール構想 オンライン教育の是非
期 日	令和2年11月12日(木) 13時から14時まで
主 催 者	自治体議員政策情報センター
訪問施設	オンライン受講 会場：参議院議員会館B109内(関東限定30人)
講 師	文科省 職員 埼玉大准教授 高橋哲
概 要	2020年2月27日安倍前首相による全国一斉臨時休業「要請」は法的根拠も科学的根拠もない「要請」だった。果たして仕方のない措置だったのか?という問題定義のもと、学校保健安全法、新型インフルエンザ等対策特別措置法などから検証が行われた。米国疾病予防管理センター(CDC) 暫定指針によれば、「学校での対策をめぐる全ての決定(例えば学校休業、行事の中止、ソーシャル・ディスタンスの方法)は地域感染レベルの判断を支援する地域の保健当局との協働によって、地域ごとになされなければならない。」という見解が大切だと考えた。GIGAに関しては、私も常々考えているのだが、オンライン教育はあくまで通常の学校を補足するもので、真の意味での子どもの学びを保障するものではない。少人数学級を実現することで、真の意味での学びの保障を笠岡市でも実現したいと考えた。自治体判断で少人数学級は実現できるが、財政は自治体負担となることは課題だ。
添付書類	研修等資料

【3】

住 所	笠岡市美の浜8-4 (オンライン勉強会)
電 話	0865-67-0738
案 件	苦戦が続く公立病院の経営と新改革プラン
期 日	令和2年11月12日(木) 15時15分から15時55分まで
主 催 者	自治体議員政策情報センター
訪問施設	オンライン受講 会場：参議院議員会館B109内(関東限定30人)
講 師	総務省 職員 厚生労働省 職員
概 要	新公立病院改革ガイドラインについての説明があった。公立病院と公立病院以外の病院による再編といった設置主体の垣根を超えた広い視点による再編も今後増えていく見込み。事例として山形県日本海総合病院などがあげられた。(県立と市立)事例は蓄積してきているので、参考にしてほしいとのこと。(総務省より) 厚生労働省より、2025年に向けた地域医療構想についての説明もあった。各病院の機能を地域の中で見える化していく必要性についてお話があった。公立・公的医療機関などにおいては地域の民間医療機関ではなうことのできない医療機関に重点化してほしい、とのことだ。岡山県南東部がなぜ重点支援区域になっているのか調べようと考えている。
添付資料	研修等資料